

学校名	山辺小学校		
ホームページURL		児童・生徒数	619名
(1) テーマ 共に生きる力を育てる総合的な学習の時間は どうあったらよいか。 ～「私たちの大事な米を味わおう」～ テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。		(2) 活動の単位に○をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 5 年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい 自分達の育て上げた大事な米をより深く味わうために、調べたり・友だちと情報を交換したり・共通の体験をしたりして、米への多様な見方や考え方にふれることを通して、共に活動にじっくり取り組むことができる。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 米について知りたくなった事・興味をもった事に合わせて8つの学習グループを組織。 昔の米作り わらやもみの利用 米のお菓子料理 世界の米料理 米の性質 米の改良 山辺の昔の様子・移り変わり 米の大切さ 各グループに分かれて 調査活動を進め、中間発表会で今までの学習を振り返り、まとめの発表会を行う。 この発表会で得た知識・体験を基に、クラス全体で米料理大会を開く。時数(およそ30時間)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 校内体制...校長先生を始め、養護教諭、視聴覚・司書教諭等からの聞き取り・資料の提供などを受けた。 地域人材...父母・祖父母・歴史民族資料館・JA職員などからの聞き取り・資料の提供。 安全面の配慮...米の性質での理科実験や調理実習の火器使用の安全など。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) 時間数の取り扱い...本校「総合的な学習の時間」全70時間扱い中の約30時間 各教科との連携...理科の「稲の観察」社会科「私たちの食料生産」などの既習の知識や体験を生かしている姿や更に発展させている姿を大事に追う。 家庭・地域との連携...授業時間以外の自主的な活動が広がることへの理解と協力要請。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) 検討中である。 ・子ども達の取り組んでいる具体的な姿や行為(表情・学び方・作品・発表など)を大切に見取り、子どもへは文章化したもので返していく。 ・デジタルカメラに取り組みや表情を記録し、資料の蓄積も図る。(ポートフォリオ法)			
(8) 成果と課題 ・やりたい事が思うようにできた結果、何事にも自主的にやろうとする姿が芽生えた。 ・調べたことについて、更なる調査活動や体験活動を進めたいという要求が出てきた。 ・追究したい課題が明確化すると、手を入れなくても主体的に取り組むことができた。 ・米について8つのグループに分かれたことで、担任一人では対応しきれない部分があったので、子どもの要求に絶えうる学年や学校の体制を整える大切さを実感した。			
テーマの分類 横断的・総合的な課題(ア 国際理解 イ 情報 ウ 環境 エ 福祉・健康 オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題			